

山江村議会だより

まるおか

No.57

(区の宝：第5区)



森下橋「眼鏡橋」(村指定有形文化財)



三つ子大明神



樹幹化石メタセコイヤ群(村指定天然記念物)



山田村の伝助の墓(村指定史跡)



九州自動車道(山江サービスエリア)

目次

- 平成27年第1回山江村議会定例会報告
 - ・平成27年度当初予算
 - ・現地調査報告
 - ・一般質問
- 平成27年第2回臨時議会報告
- だんだんなあ

平成27年4月17日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

平成27年度一般会計予算28億5千2百万円を可決!! (昨年比0.07%増)

平成27年第1回3月議会定例会は、4日から13日までの10日間の会期で開催されました。今回提案されたものは、条例制定5件、条例改正6件、第3期地域福祉計画策定1件、議決事項の一部変更1件、過疎地域自立促進計画(変更)認定1件、村道路線の廃止1件、村道路線の認定1件、平成26年度一般会計、特別会計補正予算7件、平成27年度一般会計、特別会計の当初予算7件を審議しました。

4日に開会し、平成26年度一般・特別会計補正予算7件を先議し、提案理由説明、議案審議を経て質疑、討論、表決を行い残りの議案説明を行いました。5日は、条例の議案審議、6日は、18か所の現地調査、9日から11日まで条例・予算等の議案審議を行い、12日は一般質問で7議員が登壇し執行部を質しました。

最終日の13日に、条例の制定・一部改正、平成27年度予算について質疑・討論・表決を行ない、全議案を原案どおり可決決定し閉会しました。

平成27年度 一般会計予算

■歳入

【単位：千円】

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比 較 | 主 な 内 容 |
|-------------|-----------|-----------|---------|-------------------------------------|
| 村 税 | 197,702 | 196,354 | 1,348 | 村民税、固定資産税、軽自動車税他 |
| 地 方 譲 与 税 | 35,711 | 35,901 | △190 | 地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税 |
| 利 子 割 交 付 金 | 300 | 300 | 0 | 利子支払時の税の一部交付金 |
| 配 当 割 交 付 金 | 280 | 300 | △20 | 上場株式配当時の税の一部交付金 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 10 | 50 | △40 | 株式譲渡時の税の一部交付金 |
| 自動車取得税交付金 | 2,700 | 5,000 | △2,300 | 道路の延長と面積による交付金 |
| 地方特例交付金 | 290 | 440 | △150 | 減収による補填分の交付金 |
| 地方交付税 | 1,562,500 | 1,570,000 | △7,500 | 行政機関の均質的な水準確保のための交付金 |
| 交通安全対策特別交付金 | 740 | 790 | △50 | 交通事故発生件数、人口による交付金 |
| 地方消費税交付金 | 35,000 | 20,000 | 15,000 | 人口、従事者数による交付金 |
| 分担金及び負担金 | 27,514 | 26,159 | 1,355 | 民生費負担金(保育料等)他 |
| 使用料及び手数料 | 45,281 | 43,765 | 1,516 | 住宅使用料、体育館他施設使用料他 |
| 国庫支出金 | 300,196 | 274,341 | 25,855 | 各種事業における国からの負担金、補助金他 |
| 県支出金 | 186,565 | 208,019 | △21,454 | 各種事業における県からの補助金、委託金他 |
| 財産収入 | 4,059 | 23,254 | △19,195 | 基金積立利子、立木売却収入、土地建物貸付収入他 |
| 寄附金 | 1,500 | 1,500 | 0 | 山江村ふるさと応援寄附金 |
| 繰入金 | 164,000 | 61,000 | 103,000 | 財政調整基金・山江村定住促進基金 |
| 繰越金 | 80,453 | 168,807 | △88,354 | 前年度繰越金 |
| 諸収入 | 23,799 | 11,320 | 12,479 | 農業者年金業務受託費、貸付金元利、受託事業収入 |
| 村債 | 183,400 | 202,700 | △19,300 | 臨時財政対策債、林道維持費債、道路橋梁費債、公営住宅費債、小中学校費債 |
| 歳入合計 | 2,852,000 | 2,850,000 | 2,000 | |

■歳出

【単位：千円】

| 科 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比 較 | 主 な 内 容 |
|-------------|-----------|-----------|---------|-----------------------|
| 議 会 費 | 65,671 | 61,923 | 3,748 | 議員報酬、議会運営費他 |
| 総 務 費 | 516,629 | 501,930 | 14,699 | 地域づくり夢チャレンジ推進費、村議会選挙他 |
| 民 生 費 | 664,053 | 666,222 | △2,169 | 児童福祉費他 |
| 衛 生 費 | 389,215 | 376,214 | 13,001 | 子育て支援事業費、後期高齢者医療費他 |
| 農 林 水 産 業 費 | 278,306 | 312,735 | △34,429 | 多面的機能支払事業他 |
| 商 工 費 | 26,434 | 28,357 | △1,923 | 温泉センター管理運営委託料他 |
| 土 木 費 | 221,139 | 205,927 | 15,212 | 住宅建設費他 |
| 消 防 費 | 101,957 | 109,888 | △7,931 | 非常備消防費他 |
| 教 育 費 | 208,279 | 177,294 | 30,985 | 教育 ICT 環境整備他 |
| 災 害 復 旧 費 | 4,500 | 4,500 | 0 | 災害復旧工事費他 |
| 公 債 費 | 354,846 | 384,934 | △30,088 | 起債償還 |
| 予 備 費 | 20,971 | 20,076 | 895 | 予備費 |
| 歳出合計 | 2,852,000 | 2,850,000 | 2,000 | |

平成27年度 特別会計予算

【単位：千円】

| 会計名 | 本年度 予算額 | 前年度 予算額 | 比較 | 本年度予算額の財源内訳 | | | |
|-----------|------------|------------|---------|-------------|-----|---------|---------|
| | | | | 特定財源 | | | 一般財源 |
| | | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | |
| 国民健康保険事業 | 572,500 | 520,000 | 52,500 | 205,002 | 0 | 247,671 | 119,827 |
| 簡易水道事業 | 170,000 | 156,000 | 14,000 | 0 | 0 | 49,898 | 120,102 |
| 農業集落排水事業 | 144,000 | 150,000 | △6,000 | 0 | 0 | 35,952 | 108,048 |
| 介護保険事業 | 444,000 | 470,000 | △26,000 | 177,090 | 0 | 122,133 | 144,777 |
| 後期高齢者医療事業 | 32,500 | 33,000 | △500 | 0 | 0 | 242 | 32,258 |
| ケーブルテレビ事業 | 65,000 | 42,000 | 23,000 | 0 | 0 | 23,506 | 41,494 |
| 工業用地等造成事業 | 0 | 2,300 | △2,300 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※工業用地等造成事業予算はH26年度までで廃止

公共工事現地調査を実施！

平成26年度完了(13事業)、平成27年度予定(5事業)

3月議会定例会3日目の6日(金)は、午前9時から9月議会定例会時調査後の平成26年度事業の村道味園涼松線道路舗装補修工事完了現場をはじめ、村道水無吐合線防災工事(1・2・3工区)、村道吐合宇那川線防災工事、県道坂本人吉線(笠野橋)配水管布設替工事、万江保育園改修工事、万江コミセン太陽光蓄電連携システム設置工事、山江温泉ほたる機械改修工事、農道山田線道路改修工事、永田井手頭首工改修工事、城永シ切線配水管布設工事、村道山江錦線舗装補修工事、アグリセンター駐車場改修工事の13事業及び平成27年度事業予定の村道県道下ノ段線橋梁取付道路工事、山田小学校教室床張替工事、北永シ切団地建物分棟工事など主な事業予定5事業、合わせて18事業について各事業担当課の説明を受け現地調査を終日行った。



山田小学校教室床張替工事(H26)



山江温泉ほたる機械改修工事(H26)



村道県道下ノ段線橋梁取付道路工事(H27予定)



村道吐合宇那川線防災工事(H26)



- ・ 山江温泉センター「ほたる」の現在の状況について？
- ・ 副村長について？
- ・ 福祉タクシー・まるおか号運賃の補助について？

立道 徹議員

質問 リニューアルオープンからの来客数、売上状況、経営状況について？

答弁 入浴者は、12月6941人、売店・飲食宴会等が、3244人、宿泊が142人、1月は、8723人、4114人、153人、2月は、7257人、3550人、95人で売上高も昨年の同時期に比べ、42万円程増加している。

経営状態は、経費の節減（燃料費等）が、黒字になってきた。

質問 お客様の反応・接客・風呂・料理についてと今後の取り組みについて？

答弁 施設の改善による集客をあげる。料理を一新させる。おもてなしの向上。の3点を重点目標に掲げている。

接客・料理に対しては、支配人が経営管理メモにチェックし、問題提起があれば、その都度、改善を行っていくという経営手法をと

を見守っていき、現場との確認を取りながら、お客様の喜びが売上高にもつながり、村民の活性化の拠点でもあり、観光の拠点でもあるのでそういう施設を目指していきたい。

質問 副村長について？

答弁 副村長が不在の町村は、相良村と山江村である。

地方創生が叫ばれる現在、その戦略を策定していくためには副村長の存在も必要である。村民の信頼できる人を配置して、期待と幸せづくりに邁進していきたいと思っています。

なるべく、早い時期にご相談をさせていただければと思っております。

質問 福祉タクシー・まるおか号運賃の補助について？

答弁 福祉タクシーとは、外出を支援するサービスで、対象者が概ね65歳以上の一人暮らしの方。健康上の理由及び身体的、精神的に障がい等をお持ちの方で、まるおか号を利用することが困難な方を対象にタクシー、または、リフト付きの車両で自宅と医療機関、役場、金融機関及び買い物等のための店舗に送迎する事業である。

現在、週2回の利用ですが、月10回の利用回数ができるように検討しています。今後、地域公共交通プロジェクト委員会で議論検討



乗合バスまるおか号停留所

していきます。利用者負担金額は、利用料金の1割負担である。今回、地方創生の取り組みとして、交付金事業によりプレミアム付きタクシー券の発行を予定している。すこしでも割安で乗れることで生活支援になるのではないかと考えています。

現在、便数も増やし、停留所も増やし、利用しやすい公共交通機関になるように毎年見直しを行っている。

アンケート調査、座談会等でまるおか号のあり方等、総合的に検討していきます。

一般質問

質問 同居者世帯の方にも支給できないか？

答弁 これは、高齢者世帯の生活を支援し、福祉の増進を図るため、満70歳以上の独居世帯及び満70歳以上の高齢者のみの世帯に対して、1世帯当たり1万円を支給するものである。この目的は、年金等のみの収入で生活しておられる方の生活を支援するものであり、世帯の中に生活を支える方が居られたら、その世帯は支給の対象としない。

しかし、同居世帯で低収入により生活が何らかの支援が必要な方はこのいきいき応援手当ではなくて別の支援も考えられるので、一度相談をお受けしたいと思っている。

今後は社会情勢の変化に対応するためにも、実情に応じた制度の改革は必要であると認識している。

質問 70才以上の同居者世帯の方にも支給できるような条例の改正は考えられないか？



国営川辺川造成地

答弁 この条例は、年金暮らし等の高齢者世帯を対象として支給することを目的に条例が出来たと理解しており支給枠を広げたら逆に不公平になってしまうのではないかと考えられる。

このようなことから条例を改正するということは、今の時点は考えていない。

質問 平成26年10月より、郡市内では初めての取り組みとして、学校給食の完全無料化に取り組み、子どもをお持ちの親御さんは大変喜ばれておられると思います。が、食材についてお伺いいたします。

現在J A、物産館等の出荷協議会から材料を仕入れておられると思いますが、品質や選別等がいろいろと問題点がかなり発生している状況であると聞いています。

子どもは山江村の宝です。子どもの成長を助けるために、安全安心な食材を提供しなければならぬと思います。環境保全型農業、又はくまもとグリーン農業に取り組み考えはないか？また、熊本型特別栽培農産物有作くんなど、熊本県では、32.9%の方が特別栽培として取り組まれており、山江村でも独自の安全安心な食材を提供するためにマニュアルをつくることにより、地産地消にもなります。また、農家も潤いますので、

今後、出荷協議会等を立ち上げて、安全安心な食材を営農指導するなどの考えはないか？

答弁 平成27年度以降もくまもとグリーン農業の取り組みを推進し、農家の方々を支援していきたくと考えています。

また、くまもとグリーン農業は環境保全であり減農薬で、安全安心な農作物をつくっておられることから、グリーン農業を取り組んでいただく農家の方々を増やすためにもぜひグリーン農業の宣言をしていただき、学校給食にも農家の方々のご協力を賜ればと思っています。

地産地消も含めながら、生産農家の所得の向上にも繋がりますので学校給食の食材の提供に向けた生産者等の組織を立ち上げさせていいただきながら、安全な食材を提供できればと考えています。

質問 川辺川事業について伺います。山江村では、58haの造成地があり色々川辺川事業に対しては



・いきいき応援手当について？
「条例改正の考えは？」

原先 利且議員



・農業振興(学校給食の食材)について？
・川辺川事業の状況と今後について？

秋丸 安弘議員

問題があると思います。現在、九州農政局では営農計画検討会を立ち上げられて、去年の10月から5回ほど検討会が開催され、出席者は担当課長や事務担当者だけである。5回のうち1回だけが受益者代表で、各町村から1人ずつ参加であった。問題点として鳥獣被害が多くなったことや、農地全体に傾斜が付いていて表土が流れて作付けができないところもある。その後の検討会の話はどのようなものか？

また、高齢化が進む中、かんがい排水事業の廃止の2/3の同意が取れない場合、このまま償還が発生しないのか、2/3の同意が

取れなくても償還が発生するの
か？

答弁 造成等の計画変更等は九州農政局の方で進めていく。事業廃止の2/3の同意作業は平成27年度から進められる。川辺川土地改良区の立場から言うと、原則的には償還金が発生するのは大原則である。



・地域住民の安心安全対策について？
・村民を被害等から守る
安全対策の取組みについて？

岩山 正義議員

質問 振り込め詐欺など特殊詐欺の被害者は高齢者が多いが、村内の被害状況について？

答弁 全国の被害額が500億円を超えている。県内が約6億4千万円、球磨郡では62件で、被害額が680万円である。村内では相談

件数が10件あったが被害は発生していない。

質問 被害には遭わない対策の取組みは？

答弁 警察署と連携し、未然防止の講習や独居・高齢者世帯の訪問し啓発を行っている。また広報や

ケーブルテレビによる被害防止を図っている。

質問 下校後及び休日や長期休み時の事故や事件に遭わない安全対策の取組みは？

答弁 全校集会等で安全指導を行っており、夏休みなどは長期休業計画を策定し、児童生徒及び保護者へ指導している。内容は「2名以上で行動し登下校は寄り道をしていない」「危険な所や人通りの少ない所に近寄らない」「子供だけで川遊びや山遊びはしない・火遊びは禁止」「不審者に遭遇したら、大声を出しながら逃げ地域の110番の家に駆け込む」「夜間外出や外泊は保護者同伴」としている。

質問 村内児童生徒の携帯やスマートフォン利用の現状は？

答弁 最近固定電話を置かない家庭も多く、携帯やスマートフォンを持たせる家庭もある。学校調査では、小学校で持っているのが40人、中学校は原則所持禁止、やむを得ない事情で現在3人を認めている。必要な時は親や家族の使用するが18人、一日の使用時間は30分以内でトラブルの報告はない。

質問 携帯所有について、保護者の危機認識をどのように感じていますか？

答弁 危機感があります、村Pにおいて7月に情報メディアの講演会を行っている。また中学校ではアンケート調査し、結果を各家庭に配付している。小学校も同様の調査をしており、県では「くまもと携帯電話・スマートフォンの利用5か条」を作り配付している。中学校では生徒会ルール1か条で「親の携帯などを使用する際は、親に断って、目の届く範囲で時間を決めて使う」としております、親も同じ認識と信じております。



スマートフォン

一般質問



・観光交流による地域の元気づくりは？
・進めよう！
・夢のある地方創生へ向けた取組みを！

中竹 耕一郎議員

質問 文化財を活用した観光交流が望まれるが、課題解決への認識は如何？

答弁 例えば大王神社の屋根葺き替え等にも苦労がある。国、県とも関わり合いながら保存活用に務める。

質問 相良33観音めぐりの12番札所合戦峰観音堂は山田の伝助殉教地としても観光活用すれば特に有望ではないか？

答弁 整備することで地域がにぎわい、元気が出ると思っている。地域創生の事業メニューなど検討したい。

質問 地方創生総合戦略が義務付けられているが、少子高齢に伴う人口の動きについて実態を分析されたのか？

答弁 具体的には次年度事業で人口推計とビジョン作成に取り掛かる。2060年には約2000人程となる。

高齢者は2025年がピークであり、その後減少する。年少人口



合戦峰観音堂周辺

は15%前後で推移する。

質問 新型交付金を活用した地方創生セーフティネットの政策の1つ、情報端末機器を使った医療機関と行政と個人とを結んで医療費削減、介護費削減に挑戦されているか？

答弁 高齢者の健康管理業務を進める上で有望である。

質問 高齢者の拠り所でもある地域の商店の営業が維持できるような支援方策はないか？

答弁 次年度事業で消費喚起と生活支援メニューで商工会を通じてプレミアム商品券を計画している。

質問 高齢人口が増加するが、しっかりとしたシニアライフの確立を急ぐべきではないか？

答弁 サポートすることは重要である。地方創生事業メニューを検討する中で山江未来塾から発信しニーズに応える仕組みを考えていく。

質問 子供たちを守る防犯カメラの設置が必要、更にスマホを活用

した情報キッズ子育て策は如何？

答弁 ケーブルテレビのネットを使う方法がある。村のホームページなど既存のシステムで子育て情報を発信するなど今後検討していく。

質問 今後の村の姿がどうなるのか？集落が維持できるか否か？空き家対策、移住対策を含めて今から検討する必要があるのでは？

答弁 地方創生の観点から移住定住促進委員会の中で協議をしている。

要望 安全安心で不安なく、わずかでも豊かさを感じながら隣同士、家族で暮らしていけることを目標に夢のある地方創生を期待する。

・尾崎迂回路について？
・地区座談会について？



谷口 予志之議員

質問 12月定例議会において、村

長より事業費も高額であり、補正予算に計上すべきではなく、補助、起債等も考え、当初予算でという回答だった。安全安心を考慮した実施設計までできているのになぜ新年度予算に計上できなかつ

たか？

答弁 昨年11月に実施設計を完了させた。補助金や過疎債等を検討したが、道路規格等から対象とならない。県道相良人吉線の改良施工も用地の課題等もあり、着工のめどが立っていない。予算編成時



拡張計画の県道相良人吉線(尾崎)

において前年度対比で3%から5%の削減を念頭に、新年度予算を編成し計上しなかった。

県道が工事中、その県道を使えないから迂回路をつくる。県道の工事については、検討を重ねているということであり、地区と県の土木と工事の話し合いの様子を見てみたい。

質問 県道の工事の通行止めだけの迂回路ではない。異常気象等により地区孤立の恐れがある心配もあつての迂回路である。県道工事だけの迂回路でないという認識はどうか？

答弁 路線決定も含めて紆余曲折いろんな意見もあつたと考える。発注者は役場であるから、予算を組んで総合的に慎重に対応したいと思つている。座談会で地域住民の声も伺いたい。

質問 県道相良人吉線の未開通部

分も含めて検討協議され今の路線が検討された。年次計画での計画はないか？

答弁 順次年次計画でやったほうがいいと思つている。設計までしているの、作らないとは言つていない。もう一度仕切り直させて地域の住民の方々の話も併せて聞き、対応させていただきたい。

質問 作らない事ではないということですので、早期に着工のほうで、前向きに進んでいただきたい。

質問 ケーブルテレビについての加入率は？

答弁 2月末現在での加入率は78.8%で事業所等が56件ほど加入されている。

質問 ケーブルテレビの視聴率を調査されたか？

答弁 調査は行っていないが、アンケート調査を実施している。回答率は40%で、満足、やや満足、普通と回答された方が全体で81%。やや不満足、不満と答えられた方が11%となっている。何らかの形で自主放送を見ておられる方は87.29%となっている。

質問 たまに見るといいう方まで含めて87%となっているようだが、毎日見るとよく見るだけでは半分位の40%になる。

テレビ座談会をされた効果についてはどうか？

答弁 テレビ村長室という形で、座談会に代えさせてもらった。効果等々は、テレビ村長室に対する意見というところで、要望、提案等を取りまとめており、7地区から47項目の意見、提案、要望が上がっている。

質問 テレビ村長室ということで座談会的なことをやられた。これでは一方的に情報を発信するだけで先に相手が見えない。それより膝を突き合わせて座談会をやつて、情報の発信や、村長の考えとか顔を見ながら

地区住民の話が聞かれたほうが、村長や執行部のためにもなると思う。地区の座談会の計画は？

答弁 地区での座談会は、早い時期に計画をさせていただきたい。

要望 地区に向いての座談会は、出席される村長とか、幹部職員の方々には、大変ご苦労されるがよろしく願う。



- ・ 国保医療費とその対策は？
- ・ 本村の文化財保存状況は？
- ・ 温泉の水質状況と宣伝活動！

西 孝恒 議員

質問 国民健康保険税の収納率も含めて、国民健康保険事業の現状について？

答弁 被保険者数は減少し、医療費は年々高額になっている。H25年度は一人当たり41万2224円で熊本県内では、上位から8位である。生活習慣病が重症化のため、健診の受診を勧奨している。国保税の収納率はH25年度71.5%、本年度は2月時点で62%となっている。今後も収納率アップに

努める。

質問 生活習慣病対策や節目検診等、これまでの適正化計画の状況やその効果について？

答弁 医療費の適正化を図るその対策としてH24年度に、たっしやか健康づくりプロジェクトを健康福祉課で立ち上げ、未受診の方に受診勧奨し、検診率も65.42%に上がり県内で2番目に高い市町村となった。来年度から保健師の雇用も計画している。

一般質問

質問 国保医療費の中長期的な適正化対策として歯の健康の重要性を考えるが、保育園や小中学校における口腔ケア、フッ化物洗口も含めてその推進状況は？

答弁 県内の12歳児の一人あたりの平均虫歯の本数は、全国で熊本県がワースト5位で、更に本村が県内でもワースト1位となっている。本村では現在、2保育園がフッ化物洗口を実施中、また県の補助事業を受けて希望者を対象に、週一回フッ化物洗口を行っている。歯周病予防や口腔ケアは全身の健康づくりに重要と考える。

質問 本村の指定以外の文化財について、資料への掲載や維持管理、保存状況は？

答弁 国、県、村指定の文化財が64件、法に基づいた未指定文化財は44件ある。文化財の保護、維持管理は大変難しくなる状況であるが、文化財保護行政体制を整えて、未指定や未指定外も含め調査し、保存と活用に関後努めて行きたい。

質問 山江温泉の水質検査や、消毒洗浄など衛生対策について？

答弁 レジオネラ菌による事故は発生したら命とりである。県の水質条例に基づき年一回検査している。送水管も薬品洗浄している。

質問 水質の衛生管理に使われる薬剤や作業内容、また年間にかかる費用は？

る費用は？

答弁 殺菌消毒の薬品は次亜塩素酸ソーダを使用、毎日4回残留塩素を測定記録している。飲料水も滅菌を行いこの薬剤に年間22万円ほど経費を要している。また洗浄に過酸化水素など使用、配管洗浄には89万円ほど経費を要した。

質問 山江温泉は、昨年施設改修されグレードアップしているが、リニューアル後の特長やPRの考案について？

答弁 リニューアルに際しては魅力ある施設と料理、おもてなしの3点を重点的に行った。特にスパーマイナスイオン発生陶板浴や最近のマッサージバスも導入、新パンフレットも完成させ営業に活用、集客を図りたい。



山田小学校「ふれあい歯磨きの様子」

全国町村議会議長会より表彰

熊本県町村議会議長会第65回定期総会が2月18日、ホテル熊本テルサで開催された。総会に先立ち、「住民に開かれた議会」、特に告知端末機での議会周知やケーブルテレビを使った議会中継など地域の振興及び住民福祉の向上、議会の活性化に努めていることが認められ、全国町村議会議長会表彰（全国25町村：熊本県では山江村のみ）の伝達があり代表して松本議長が表彰を受けられた。（平成19年に続き2回目）

今後も住民に開かれた議会、身近な議会として議会活動や地域の活性化に努めていきたい。



4年間お世話になりました。（平成27年第2回議会臨時会終了後 3/30）

地方創生「まち・ひと・しごと創生事業」補正予算を可決！

平成27年第2回山江村議会臨時会が3月30日招集され、平成26年度山江村一般会計補正予算（第8号）及び平成26年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算（第5号）と平成26年度山江村特別会計介護保険事業補正予算（第4号）を審議し、原案どおり可決決定しました。

今回の補正予算は、一般会計においては、主に地方交付税の確定と地域住民生活等緊急支援のための交付金（まち・ひと・しごと創生事業：プレミアム付商品券助成金等）で補正前の額に歳入歳出それぞれ119,492千円を追加し、総額を31億6千2百423千円としました。

また、特別会計国民健康保険事業補正予算は、主に調整交付金の確定によるもので補正前の額から歳入歳出それぞれ22,515千円を減額し、総額を5億3千万2千円、特別会計介護保険事業補正予算は、主に高齢者介護サービス等費負担金の財源組替で歳入歳出それぞれ総額増減なしの既定の額とし可決しました。

一般会計補正予算（第8号）

■歳入

【単位：千円】

| 科目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 説明 |
|-------------|-----------|---------|-----------|--|
| 利子割交付金 | 300 | 13 | 313 | 利子割交付金の増 |
| 配当割交付金 | 300 | 834 | 1,134 | 配当割交付金の増 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 50 | 1,085 | 1,135 | 株式等譲渡所得割交付金の増 |
| 自動車取得税交付金 | 5,000 | △1,914 | 3,086 | 自動車取得税交付金の減 |
| 地方特例交付金 | 440 | 356 | 796 | 地方特例交付金の増 |
| 地方交付税 | 1,570,000 | 67,133 | 1,637,133 | 特別交付金の増 |
| 交通安全対策特別交付金 | 790 | △86 | 704 | 交通安全対策特別交付金の減 |
| 地方消費税交付金 | 20,000 | 12,426 | 32,426 | 地方消費税交付金の増 |
| 国庫支出金 | 283,749 | 35,689 | 319,438 | 地域住民生活等緊急支援のための交付金(消費喚起・生活支援型、地方創生先行型) |
| 県支出金 | 214,114 | △844 | 213,270 | 地域づくり夢チャレンジ推進費補助金の減、農地中間管理機構事業委託費の減 |
| 村債 | 193,900 | 4,800 | 198,700 | 道路新設改良事業の増 |
| 歳入合計 | 3,042,931 | 119,492 | 3,162,423 | |

■歳出

【単位：千円】

| 科目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 説明 |
|--------|-----------|---------|-----------|-------------------|
| 総務費 | 548,003 | 37,983 | 585,986 | まち・ひと・しごと創生対策費他の増 |
| 農林水産業費 | 349,554 | △3,176 | 346,378 | 農業振興費、畜産費、果樹振興費の減 |
| 商工費 | 102,120 | △730 | 101,390 | 温泉センター工事請負費の減 |
| 土木費 | 222,146 | △176 | 221,970 | 用地購入費の減 |
| 教育費 | 190,543 | 0 | 190,543 | 財源の組替 |
| 公債費 | 384,934 | 213 | 385,147 | 臨時財政対策債償還等の増 |
| 予備費 | 47,173 | 85,378 | 132,551 | 予備費の増 |
| 歳出合計 | 3,042,931 | 119,492 | 3,162,423 | |

だんだんあ

出会いと別れの時期、花吹雪の舞い散る中、例年のことであるが春の心地良さを感じる今日このごろです。

さて、今年は統一選挙の当たり年。四年に一度、住民の厳しい審判を受け禊払いをしなければならぬ。一部報道機関では低い投票率に加えて、憂慮される政治離れについて報じている。極端には議会不要論まで飛び出す始末。このままでは行く末が案じられる。さて、議会と住民の掛け橋でもあった議会広報『まるおか』がその役割をどれだけ果たしただろうか？広報に携わった一人員として心もとない。めげずに愛読頂いた方から感謝します。住民の声を届く身近な議会になりませぬ。今後に期待します。

（文責 中竹 耕一郎）



【広報編集特別委員会】 委員長／中竹 耕一郎 副委員長／西 孝恒 委員／秋丸 安弘・谷口 予志之